

| | |
|-------------|--|
| 研究課題名 | 睡眠時無呼吸症候群患者の睡眠が感情に与える影響に対する日本語版 The Positive and Negative Affect Schedule (PANAS) を用いた検討 |
| 研究責任者名 | 広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学 岡田剛 |
| 研究期間 | 実施許可日～2029年 3月 31日 |
| 対象者 | 2021年6月1日～2021年12月31日の間に広島みなとクリニックにおいて睡眠時無呼吸症候群と診断され、PANASに回答した患者さんおよび2021年6月1日～2028年12月31日の間に星野耳鼻咽喉科睡眠呼吸センター、または広島大学病院睡眠医療センターにおいて睡眠時無呼吸症候群と診断され、PANASに回答した患者さん |
| 意義・目的 | ヒトの感情は大きく分けて、Positive感情とNegative感情の2大要素より構成されていますが、睡眠時無呼吸症候群の患者さんの睡眠がこれらの感情に与える影響を調査します。睡眠時無呼吸症候群による睡眠の質や量の変化が感情に与える影響を調査することにより、睡眠呼吸障害による感情面での意義を明らかにし、通常治療により得られる睡眠の改善が高血圧症や精神疾患などの発症や進行の抑制につながる可能性を探ることに繋がります。 |
| 方法 | <p>終夜睡眠ポリグラフ検査を行う前後と睡眠時無呼吸症候群の通常治療後の一晩の睡眠前後に実施した、感情に関する質問票（PANAS）の調査結果を本研究で二次利用し、睡眠が感情に与える影響を統計学的に解析します。また診療録から年齢、性別、確定診断、既往歴、問診票、終夜睡眠ポリグラフ検査結果を使用します。</p> <p>解析や発表の際には氏名や住所など、個人が特定できる情報は使用しません。各機関で氏名や住所等、個人が特定できる情報を削除し誰のものか分からないようにしたデータが広島大学に提供され、広島大学で解析を行います。</p> <p>外部への試料・情報の提供：ありません</p> <p>利用または提供を開始する予定日：2022年5月24日</p> |
| 研究実施体制 | <p>本院の研究責任者</p> <p>大学院医系科学研究科精神神経医科学 岡田剛</p> <p>研究機関の長：広島大学理事 田中純子</p> <p>研究代表機関 大学院医系科学研究科精神神経医科学 岡田剛</p> <p>共同研究機関 星野耳鼻咽喉科睡眠呼吸センター 院長 星野哲朗</p> <p>既存試料・情報の提供機関 広島みなとクリニック 院長 塩野方明</p> |
| 試料・情報の管理責任者 | 大学院医系科学研究科精神神経医科学 岡田剛 |
| 個人情報の保護について | 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合は受診された機関にお申し出ください。お申し出いた |

だいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1922

広島大学病院睡眠医療センター 熊谷元